

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人権・男女共同参画課
 担当名: L G B T Q担当
 内線: 2927

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B6	L G B T Q支援事業			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	人権施策推進費			
事業期間	令和 2年度～ 令和 8年度	根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現	SDGsゴール	1, 5		
					分野施策	0704	人権の尊重	SDGsターゲット	1-2, 5-1, 5-2		
1 事業概要				5 事業説明							
L G B T Qについての正しい理解が進むよう、県民や企業に対する啓発活動を実施する。 さらに、L G B T Q当事者やその家族からの相談を受ける専門相談窓口を設置するとともに、企業の取組を支援するため、企業向けの相談窓口を設置する。 また、L G B T Qが安心して生活できる環境づくりのため、施策を検討するとともに相談機関の連携を図る。				(1) 事業内容及び事業計画 ア L G B T Q理解促進事業 2,754千円 L G B T Qについての正しい理解が進むよう、県民向け・企業向けに啓発を行う。 (ア) 企業向けオンライン研修の実施 県内企業においてL G B T Qについての正しい理解が進むよう、企業向けオンライン研修を実施する。 (イ) 大学生向けアライの取組 県内大学生を対象に、アライを増やし、見える化する取組をモデル的に実施する。 イ L G B T Q相談事業 14,979千円 L G B T Q当事者等からの悩みと、企業からのL G B T Q配慮に関する取組についてそれぞれ相談を受ける。 (ア) L G B T Q専門相談事業 誰にも相談できずに悩んでいるL G B T Q当事者やその家族等から、電話やSNSで相談を受ける。 (イ) 企業向けL G B T Q相談事業 L G B T Qが働きやすい職場づくりに向けて、企業でのL G B T Qに関する取組を促すため、研修を受けた企業を対象に、個別の相談を受け付ける。 ウ L G B T Qが安心して生活できる環境づくり事業 836千円 L G B T Qが安心して生活できる環境づくりのための施策の検討、相談機関の連携を図る。 (ア) L G B T Q懇話会の開催 有識者で構成する懇話会でL G B T Q支援について検討する。 (イ) 相談機関ネットワークづくり 県や市町村の各相談機関との連携強化を図るとともに、相談事例等を共有して相談スキルの向上を図る							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0=28,500千円				(2) 事業効果 ・L G B T Qへの理解が深まり、当事者への偏見や差別の減少につながる。 ・企業がそれぞれの状況に応じてL G B T Qの取組を検討・実施することが可能となり、L G B T Qが働きやすい職場の増加につながる。 ・L G B T Q当事者やその家族が気軽に相談できるようになり、安心して暮らせるようになる。							
				(3) 補正予算の概要 ア L G B T Q専門相談事業及び企業向けL G B T Q相談事業に係る契約差金による減額 イ 経費削減による減額							
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額		
決定額	△1,438							△1,438	18,569		
現計額	20,007							20,007			

事業内訳書

事業名	L G B T Q支援事業		
単位事業名	L G B T Q理解促進事業	予算額	△ 147千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△3	—	経費削減による減額
需用費	△24	—	経費削減による減額
役務費	△120	—	経費削減による減額
合計	△147	—	

単位事業名	L G B T Q相談事業		予算額	△ 1,291千円
-------	---------------	--	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△1,291	—	L G B T Q相談事業に係る契約差金による減額
合計	△1,291	—	